

# 千葉県 NEWS

CHIBA CANCER CENTER NEWS

## がんセンターニュース



第12号  
平成21年4月22日発行  
発行:千葉県がんセンター

### 理念

心と体にやさしいがん医療

患者さんの視点に立って、  
患者さん本位の医療を、  
患者さんとともにを行います。

## 納得の医療をめざしたインフォームド・コンセントの取り組み

診療部長 永田 松夫



医師を全面的に信頼して、すべてをお任せするという、パターンリズムによる医療はもう許されなくなっています。患者自身の選択による医療を、いわゆるイン

フォームド・コンセント（以下IC）の中で、医療者がサポートするという方向に大きく変わってきています。がん専門病院である当センターでは、ICについてのガイドラインを作成することを目標に、ICがどうあるべきか、検討しています。最近増加している、医療の場でのコンフリクトは当センターでも大きな問題の一つですが、十分なICのもとに、納得した医療を実践することにより、少なからず予防効果が期待できるのではないかと考えています。

手術など書面による同意ばかりでなく、日常のなげない医療行為の中でICを念頭におくことが大切です。たとえば、身体の診察をする、検査をする、点滴を刺す、体位を変えるなどでも、ただ黙って行うのではなく、ちょっとした説明をして納得を得ながら行うことで、患者との関係が円滑になります。したがって、今やICは

医師ばかりでなく、看護師、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、栄養士にとっても大事で、チーム医療がうまく機能している必要があります。地域連携の上でもICの共有が大切であることはいうまでもありません。患者の情報交換の上で、病状の説明がどのように行われているかが、すぐに分かるような情報の提供を心がけたいと思います。これは現在計画中の地域医療機関との電子カルテの共有化が実現すれば、大きく改善されると思います。

治療に向かう気持によって、病状の経過に差があることは日常の診療で、強く感じる場所です。よいICによって、信頼関係を構築するとともに、患者のがんに対する不安を軽減して、治療に向かう勇気を引き出すことができ、患者の内なる力を引き出して、治療効果を上げることが可能であろうと考えます。チーム医療の中でのICの取り組みは、まだはじまったばかりですが、よりよい医療者、患者間の信頼関係に基づいた、納得できる医療の実現のために努力して参ります。

# 研究の現場から

## がんの新しい治療標的遺伝子の発見 —ALK チロシンキナーゼ遺伝子の異常— 研究局 大平 美紀

**上** 皮成長因子受容体 (EGFR) 遺伝子変異をもつ非小細胞肺癌に対するゲフィチニブ (イレッサ) や BCR-ABL 転座を伴う慢性骨髄性白血病に対するイマチニブ (グリベック) の適用のように、チロシンキナーゼ阻害剤が特定のがんの分子標的治療薬として次々に開発されています。その奏効率の高さから、現在世界中で新たな治療標的遺伝子の探索と、特異的阻害剤の開発の熾烈な競争が行われています。本稿では、新しい治療標的遺伝子として最近注目されている ALK チロシンキナーゼの研究と臨床応用についてご紹介します。

ALK 遺伝子は非ホジキンリンパ腫で転座を起こす遺伝子として既に知られていましたが、2007年に自治医科大学の間野教授らの研究グループが2番染色体内の逆位により EML4-ALK 融合遺伝子が一部の肺癌で生じていること、また、この融合遺伝子があると、細胞は強いがん化能を示すことを学術誌 Nature に報告したことにより、改めて ALK が注目されるようになりました。折しも当研究局の中川原らが東京大学の小川准教授らと共同で進めていた神経芽腫 (代表的な小

児がんの一つ) のゲノムの網羅的な解析から、一部の進行神経芽腫では ALK の1塩基変異や遺伝子増幅が生じており、やはり ALK 遺伝子異常が腫瘍悪性化に関与していることが明らかになりました (昨年 の Nature 誌に報告)。以上のような ALK 遺伝子異常が見つかったがんについては、ALK キナーゼ阻害剤が新しい分子標的治療薬となることが強く期待されます。現在複数の製薬会社が ALK 阻害剤の開発を行っており、一部については既に海外で第 I 相臨床試験が開始されています。そこで研究局では、神経芽腫については、日本の神経芽腫の新しいリスク分類への応用を目指し、過去の症例の大規模な ALK 変異解析を現在進めています。また、肺癌については、近々日本でも臨床試験が開始される予定であり、それにいち早く対応するため、医療局呼吸器科との連携により、ALK 融合遺伝子の迅速検出法の確立を進めています。このように、がんの詳細なゲノム解析は、新たな標的遺伝子を見つける有効な手段であり、今後も様々ながんについて解析を進めていく予定です。

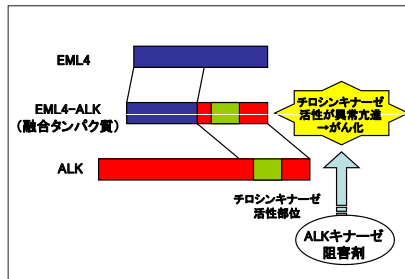


図1 肺癌におけるEML4-ALK融合遺伝子とALKキナーゼ阻害剤

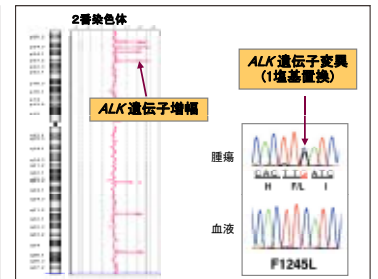


図2 神経芽腫におけるALK遺伝子異常の例

### たかが音楽!されど音楽!

「音楽療法って何ですか?」

音楽療法士 長島 律子

よく耳にする質問です。音楽には人の心身を癒す働きがあるといわれており、言葉では不可能な人の心を癒す働き・励ます力を持っているともいわれています。

日本音楽療法学会による定義は【音楽療法とは、音楽の持つ生理的・心理的・社会的働きを用いて、心身の障害の回復・機能の維持改善・生活の質の向上・行動の変容などに向けて、音楽を意図的・計画的に使用すること】です。

当センターでは平成18年より開始。“心と体のリラクゼーション”をテーマに掲げ、歌唱・鑑賞を中心とした集団療法と、演奏・創作を取り入れた個別療法を行い、治療を受ける方々の療養環境の改善に努めています。また、音楽による回想法を用いて五感に働きかけ、気分発散を促し、生態本来が持つ免疫力を高めることを目的としています。

音のキャッチボールが感情の交流や共有を生み、患者さんやご家族の心の休息の場が音楽療法であり、その心を音楽でサポートするのが音楽療法士です。



### PET/CT の稼働状況について

核医学診療部 戸川貴史

2009年2月2日より、PET/CT 検査を開始しました。院外の先生方にもご利用いただけるよう、毎日午後2時注射の検査枠を院外患者専用としております。院外患者専用枠は毎月40名分を確保しておりますが、これまでのところ検査実績は2月が14名、3月が22名でした。3月末現在の予約状況では、早ければ依頼の翌々日までにはPET/CT 検査が可能です。検査枠にはかなり余裕がありますので、是非PET/CT をご利用くださいますようお願い申し上げます。PET/CT 検査予約は地域医療連携室が窓口になっており、電話のみにて予約を承っています。

# 臨床の現場から

## 肺癌に対する導入化学療法と手術療法

呼吸器外科部長 飯笹 俊彦

**非**小細胞肺癌のなかでも縦隔リンパ節転移陽性と診断された患者さんの生命予後はきわめて不良です。このような患者さんの診断法や治療は、専門的には多くの議論がなされておりますがまだ確立されたものではありません。このうち外科手術に先立って行なわれる導入化学療法は、1994年シスプラチンを含む術前化学療法により有意に生命予後が改善するとの報告がなされ注目されました。しかしその後の報告では、否定的な報告が多いのも事実です。このような矛盾する結果の背景のひとつに縦隔リンパ節転移診断の難しさが挙げられます。このような背景を踏まえ、千葉県がんセンターでは1998年より縦隔鏡（VAM）、2005年からは超音波気管支内視鏡（EBUS）を縦隔リンパ節診断に導入し、より正確な術前診断をめざした総合治療プロトコルに基づき肺癌の治療に取り組んできました。非小細胞肺癌において①腫瘍径（腺癌では2cm、扁平上皮癌、大細胞癌では3cm以上）、②腫瘍マーカー陽性、③胸部CTで短径1cm以上の縦隔リンパ節腫大を認めた症例にVAM、EBUSをおこない縦隔リンパ節診断を行なっています。術前縦隔リンパ節転移陽性例は化学療法を2コースおこない、一定の効果を認めたものは手術を行ない、その他の症例には化学療法または放射線療法を行な

うこととしました。手術は肺切除ならびに胸骨縦切開によるR3γのリンパ節郭清を行ないます。縦隔鏡、超音波内視鏡によるこれまでより正確な術前病期診断のもとに、このような患者さんの治療体系を確立していくことは、正確な個別医療を行なっていく上で重要であると考えています。



図1 超音波気管支鏡ガイド下針生検（EBUS-TBNA）  
（上：内視鏡の先端部）

## 平成20年度 高松宮妃癌研究基金学術賞受賞について

中川原 章（がんセンター長）

この度、図らずも、平成20年度高松宮妃癌研究基金学術賞（基礎研究部門）受賞の栄誉をいただき、研究に適した自由で静かな環境を与えていただきました千葉県がんセンターと職員の皆様に心より感謝申し上げます。贈呈式は、去る2月24日に、本財団の総裁であられる寛仁親王殿下ご臨席のもとで行われました。高松宮妃癌研究基金は昭和43年に、ご両親をがんで亡くされた故高松宮妃殿下が設立され、今回は40周年の記念すべき年でした。高松宮妃殿下ご自身も4年前にがんで他界されたため、寛仁親王殿下が総裁を継がれましたが、殿下もまた十数年にわたってがんと闘われており、昨年11回目の手術を受けられたとのことでした。したがって、がん撲滅への思いを非常に強く持たれており、そのお言葉には切実な思いが深く込められていました。今回の受賞は、あらためてがん克服のための私たちの使命を考えさせられる機会となりました。

# 緩和ケア研修会開催

緩和医療科 坂下 美彦

千葉県がんセンターにおいて3月7・8日(土日)に緩和ケア研修会を開催致しました。この研修会はがん診療に携わるすべての医師に基本的な緩和ケアの知識と技術の習得を目的としたワークショップ形式の研修会です。今回は千葉県健康福祉部とがんセンターとの共催という形で、県内の在宅の先生も含めた医師33名とがんセンターの看護師5名に御参加いただき盛大に行うことができました。2日間のプログラムの中には痛み・呼吸困難・消化器症状・精神症状に関する講義だけでなく、グループディスカッションやコミュニケーションロールプレイなどが含まれ大変充実した内容でした。終了後、参加者の多くの方から「疲れましたが、大変勉強になりました」という感想をいただきました。この研修会は今後も毎年開催していく予定です。医師の方はぜひ一度御参加ください。



平成 21 年 4 月 1 日現在の外来診療担当一覧です。

## 外来診療担当医表

| 診療科         | 曜日 | 月                  | 火                  | 水                         | 木                  | 金                       |
|-------------|----|--------------------|--------------------|---------------------------|--------------------|-------------------------|
| 電先生外来       |    |                    |                    |                           | 電                  |                         |
| 消化器外科       |    | 島田 永田<br>趙 池田      | 山本(宏)<br>早田 郡司     | (AM)郡司<br>(PM)島田<br>滝口 貝沼 | 永田<br>滝口 趙         | 山本(宏) 早田<br>貝沼 宮崎       |
| 消化器内科       |    | 山口<br>傳田           | 原 傳田<br>須藤         | 山口 傳田<br>中村(和)            | 原 傳田               | 須藤<br>中村(和)             |
| 整形外科        |    | 米本 館崎<br>秋原        | 石井<br>岩田           | 館崎                        | 館崎                 | 石井 館崎<br>秋原<br>(PM)装具外来 |
| 皮膚科         |    |                    |                    | (PM)佐藤(貴)                 |                    |                         |
| 乳腺外科        |    | 大木 山本(尚)<br>榊原     | 山本(尚) 荒井           | 中村(カ)<br>山本(尚) 大木         | 山本(尚) 荒井           | 大木 中村(カ)<br>榊原          |
| 呼吸器外科       |    | 木村 飯笹<br>中島        |                    | 木村 飯笹                     |                    | 木村 飯笹<br>松井             |
| 呼吸器内科       |    | 新行内                | 板倉                 |                           | 新行内 板倉             | 新行内                     |
| (アスベスト専門外来) |    |                    |                    |                           | 新行内                |                         |
| 頭頸科         |    | 土井 浅野<br>木下        | 土井 浅野<br>木下        |                           | 土井 浅野<br>木下        |                         |
| 泌尿器科        |    | 江越 小丸              | 植田 浜野<br>深沢        | 丸岡                        | 深沢 丸岡<br>佐塚 植田     | 丸岡                      |
| 歯科          |    |                    | (AM)鷗澤             |                           | (AM)笠松             |                         |
| 婦人科         |    | 錦見                 | 田中 鈴鹿<br>大崎 錦見     | 大崎                        | 田中 鈴鹿<br>大崎 錦見     | 鈴鹿                      |
| 脳神経外科       |    | 井内                 |                    | 井内<br>堺田                  |                    | 堺田                      |
| 漢方外来        |    |                    | (AM)小川             |                           |                    |                         |
| 腫瘍血液内科      |    | 伊勢<br>熊谷           | 酒井(カ)<br>三村<br>辻村  | 酒井(カ)<br>三村<br>熊谷         | 高木<br>伊勢<br>熊谷     | 酒井(カ)<br>辻村<br>熊谷       |
| 緩和医療科       |    | 坂下                 | 坂下                 | 坂下                        | 坂下                 | 坂下                      |
| 精神腫瘍科       |    | 秋月                 |                    |                           | 秋月                 |                         |
| 放射線治療部      |    | 幡野 酒井(光)<br>荒木 今輩倍 | 幡野 酒井(光)<br>荒木 今輩倍 | 幡野 酒井(光)<br>荒木 今輩倍        | 幡野 酒井(光)<br>荒木 今輩倍 | 幡野 酒井(光)<br>荒木 今輩倍      |
| 核医学診療部      |    | 戸川 久山              | 戸川 久山              | 戸川 久山                     | 戸川 久山              | 戸川 久山                   |
| 画像診断部       |    | 高野 船津              | 高野 船津              | 高野 船津                     | 高野 船津              | 高野 船津                   |
| 内視鏡検査       |    | 原 須藤               | 山口<br>中村(和)        | 原 須藤                      | 山口<br>中村(和)        | 山口 傳田<br>原              |
| 超音波検査       |    | 中村(和)              |                    |                           | 須藤(菊池)             |                         |
| 心臓超音波検査     |    |                    |                    | (PM)佐藤(規)                 |                    |                         |
| 消化器X線検査     |    |                    |                    | 消化器外科医師                   |                    |                         |
| 緩和医療センター    |    | 渡邊 藤里              | 渡邊 藤里              | 渡邊 藤里                     | 渡邊 藤里              | 渡邊 藤里                   |

外来受付時間 午前9時～午前11時  
診療時間 午前9時～午後5時

予約センター  
TEL.043(264)5431 内線2311  
2318  
2527

※医師の都合により休診・変更の場合があります。  
※歯科、皮膚科は、当センター患者様のみ受診可能です。



**JR千葉駅から** 所要時間:約25分

千葉中央バス: 営田駅、鎌取駅、千葉リハビリセンター、大宮団地(星久喜経由)行乗車・厚生年金休暇センター前下車

**JR鎌取駅から** 所要時間:約13分

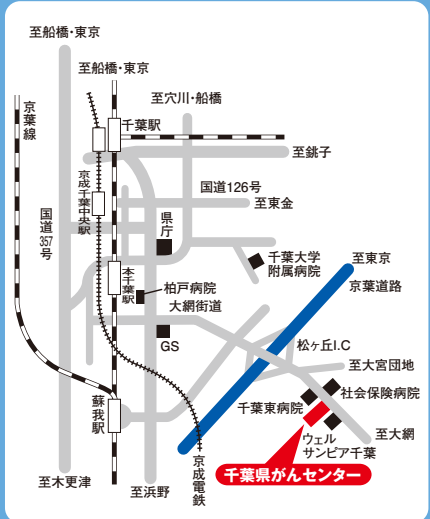
千葉中央バス: 千葉駅・蘇我駅行乗車・厚生年金休暇センター前下車

**JR蘇我駅から** 所要時間:約16分

千葉中央バス: 鎌取駅行乗車・厚生年金休暇センター前下車

**松ヶ丘I.Cから**

大網街道を大網へ向かって約2km右側



## 千葉県がんセンター

〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町666-2  
TEL.043-264-5431 FAX.043-262-8680  
<http://www.chiba-cc.jp/>